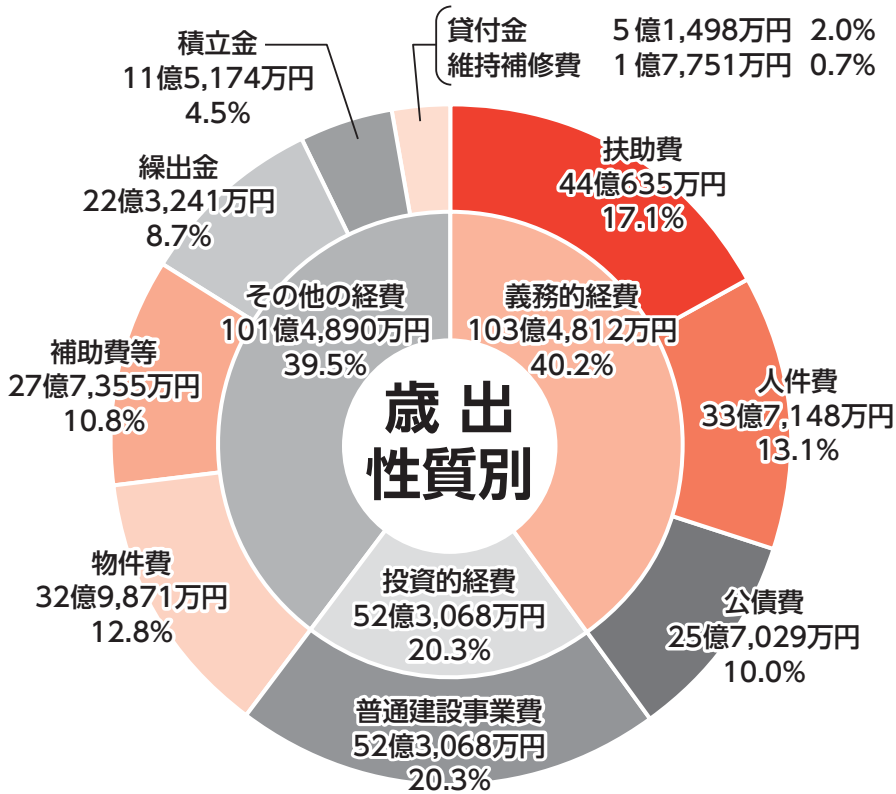


# 歳出の状況

# 257億2,770万円



## ■義務的経費の増加

扶助費について、教育・保育施設型委託事業、障がい児通所支援給付事業等により増となった一方、人件費については、時間外勤務手当等で減となりました。

義務的経費全体としては前年度に比べ2,557万円、0.2%の増となりました。

## ■投資的経費の増加

普通建設事業において、大松山運動公園拡張整備事業、石橋中学校大規模改修事業、仁良川地区道路整備事業等の増になりました。

投資的経費全体としては前年度に比べて15億2,957万円、41.3%の増となりました。

## ■民生費の増加

認定こども園整備事業、保育園事業の教育・保育施設型委託事業、ゆうゆう館改修事業により増となる一方、社会福祉施設整備補助事業、臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業、ふれあい館改修事業等が減となりました。

前年度決算額76億5,351万円に対し、2億7,589万円、率にして3.6%の増となりました。

## ■農林水産業費の減少

県単独農業農村整備事業、農業振興地域整備促進事業、道の駅しもつけ管理事業の増となる一方、農業基盤整備促進事業、6次産業化推進事業、農業水利施設保全対策事業等が減となりました。

前年度決算額10億5,491万円に対し、2億779万円、率にして19.7%の減となりました。

